

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-3-1		事業名	サイクリングロードモザイクアート事業			
担当	厚別区市民部厚別南まちづくりセンター 小林 891-1666						
全体計画							
事業内容	厚別区内を走るサイクリングロード内にあるトンネル(9箇所)には、落書きが多く書かれ、美観を損ねており、防犯上も好ましい状態とはいえない。落書きを消しても、その上から落書きされ、まさに「いたちごっこ」の状態だった。 そこで、トンネル内の落書きを防ぐため、タイル等によるモザイクアートで壁面を飾り、地域の景観を保ちつつ、犯罪を誘発させない環境をつくることとした。 壁画作成にあたっては、北星学園大学の学生や付近の小学生とPTA、地域住民が参加し、ウォーキングでイメージを高め、ワークショップで意見・アイデアを出し合い、壁画のデザインを決定する。そして全員参加により壁画を完成させていく。			<年度別の事業内容>			
				各年度1面ずつ壁画を完成させていく。 21年度以降の対象トンネルは未定。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)北壁5.8mにモザイクアートを作成。 市費決算 735,143円			しらかばトンネル(厚別区大谷地2丁目)南壁5.8mにモザイクアートを作成予定。 市費予算1,000,000円			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
〔サイクリングロードのトンネル内〕アート壁面(累計)		1面	2面	3面	4面	5面	5面
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 デザイン作成に向けて、地域住民、大谷地東小学生、北星学園大学生らが参加。 実際の壁画作成にあたっては、地域住民等が参加。 大谷地東小学校は、壁画作成を総合学習の一環として取り上げる。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] 北星学園大学から材料費等実費200万円の資金協力予定。 [人材協力] 地元在住の芸術家 原田ミドー氏がアートディレクターとして参加 [情報協力] - [その他の協力] -</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 事前に、地域のまちづくり会議で実施を決議し、地元への周知を行うとともに、小学校での子どもたちへの参加を依頼した。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		4-3-1			事業名	サイクリングロードモザイクアート事業		
評価(成果)				課題				
トンネル内にモザイクアートの壁画を作成することにより、落書き防止を行い、防犯効果をあげるとともに、景観を保持する。				/				
今後の事業の予定・方向								
厚別区内にあるサイクリングロードのトンネル全9個所にモザイクアートを作成していく。								
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000			
予算	事業費	700	1,000	-	-	1,700		
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0	
		市債	0	0			0	
		その他	0	0			0	
一般財源	700	1,000			1,700			
実績	事業費	735	-	-	-	735		
	財源内訳	国・道支出金	0				0	
		市債	0				0	
		その他	0				0	
一般財源	735				735			
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)					43.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度] 北星学園大学から資金援助があり、市費の支出を抑えることができたため。								
[20年度]								